



PRESS RELEASE

2025年2月25日



トヨタカローラ鹿児島 更なる SDGs&カーボンニュートラルへ取り組み強化

「POLDER Terrace Eco Action2.0」開始

POLDER Terrace にて新洗車排水リサイクルシステムと高出力急速充電器導入

トヨタカローラ鹿児島株式会社（本社:鹿児島県鹿児島市 代表取締役社長:中村 博之 以下「トヨタカローラ鹿児島」）は、2月26日に創業63年を迎えます。

2022年に「POLDER Terrace Eco Action」と題し、多くのお客様や地域の皆様、果ては地球環境に貢献出来る取り組みとしてSDGsのプロジェクトを始めました。

2022年時は、POLDER Terraceの洗車機に洗車排水のリサイクルシステム「ポルエコウォッシュ」と、屋上へPPA（Power Purchase Agreement、電力販売契約）モデルを活用し太陽光パネルを設置した「ポルエコパワー」を導入いたしました。

今回「POLDER Terrace Eco Action2.0」と称し更に取組を加速します。

1点目の取組は「ポルエコウォッシュ」をよりecoなシステムにリニューアルいたします。これまでの「ポルエコウォッシュ」と異なる点はフィルターを使用しない微生物を活用したバイオリサイクルという点です。

これまでのリサイクルの精度を担保しつつ、フィルター使用しないためランニングコストを大幅に減額でき、よりサステイナブルな仕様に生まれ変わりました。

2点目の取組はカーボンニュートラル促進に不可欠なBEVとPHEVの普及の為に高出力の急速充電器を設置しました。

今後もトヨタカローラ鹿児島は社会や地球環境の持続可能性を意識しアクションし続けていきます。